「主な取組」検証票

	施策展開	2-(1)-イ	「スポーツアイランド沖縄」の形成	施 策	③ スポーツ・レクリエーション環境の整備					
	旭 東展開			施策の小項目名	〇スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実					
	主な取組	都市基幹公園等の整備								
		⑤生涯スポーツ・競技スポーツの振興及びスポーツコンベンションを推進するため、様々な機能を有したスポーツ・レクリエーション環境の整備、 各種スポーツコンベンションに対応した施設の充実を図る必要がある。								

1 取組の概要 (Plan)

	取組内容		年度別計画						
生涯スポーツ・競技	技スポーツの振興及びスポーツコン [,]	ベンションを推進するため	H29	H30	R元	R2	R3		
スポーツやレクリエ	ニーション活動の場として利用できる	70.4 %				73. 7%			
備を行う。		,他自五區 是到五區 (70)是	整備率						
MI C 13 5 0									
実施主体	県、市町村	4							
大心工作	יושווי את	1	総合公園、運動公園等の整備						
担当部課【連絡先】	土木建築部都市公園課	部都市公園課 【098-866-2035】							
	名回による古代以上に	K					l l		

2 取組の	状況(Do)										
(1) 取組の)進捗状況						(単位:千円)				
予算事業名 公園費 (社会資本交付金、公共投資交付金)											
主な財源	中华十六	H29年度 決算額	H30年度	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画		
土は別源	実施方法		決算額				当初予算額	主な財源	OR3年度: スポーツ・レクリエーション活動の場を形成するため、県営の総合公園、運動公園等において用地取		
									得や園路広場施設等の整備を行った。		
内閣府計 上	補助	1, 975, 156	1, 750, 947	2, 421, 359	1, 810, 527	2, 582, 153	2, 026, 800	内閣府計 上	OR4年度: スポーツ・レクリエーション活動の場を形成するため、県営の総合公園、運動公園等において用地取		
_								_	得や園路広場施設等の整備を行う。		
予算事業名	_										
主な財源	実施方法	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画		
土は別源	美 肥刀法	決算額	決算額	決算額	決算額	決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度: スポーツ・レクリエーション活動の場を形成するため、市町村の総合公園、運動公園等において用地		
									取得や園路広場施設等の整備を行った。		
		_	_	_	_	_	_		OR4年度: スポーツ・レクリエーション活動の場を形成		
									するため、市町村の総合公園、運動公園等において用地 取得や園路広場施設等の整備を行う。		
						•					

様式1(主な取組)

11										
活動指標名 整備率(総合公園、運動公園の整備)					R3年度			R3年度		<u>活動概要</u>
	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	決算見込 額合計	進捗状況	スポーツ・レクリエーション活動の場として 利用できる場を形成するため、県営の総合公
実績値	69. 9%	70. 5%	70. 6%	70. 6%	71. 2%	73. 7%	96. 6%			園、運動公園等において、用地取得や園路、 広場等の公園施設整備を行った。
活動指標名						R3年度				
	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
実績値								2, 582, 153	加民印刷	県営公園及び市町村営公園において、スポーツ・レクリエーション活動の場として用取得や園路、広場等を整備し、R3年度実約
活動指標名					R3年度					71.2%の見込となった。計画値(73.7%)には若干至らなかったが、計画通り整備が進んでおり、順調である。
	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
実績値										
(2)これま	までの改善案	の反映状況								
	令和3年度の取組改善案									反映状況
・都市基幹公園等の整備については、引き続き公園用地取得に向け、地権者等の同意が得られるよう粘り強く交渉を続けるとともに、市町村を通じて地元自治会、関係者等の協力を得ながら事業を推進する。また、整備の効果が早期に発現できるよう部分的な供用開始に取り組む。							・公園用地取得に向け、地権者等の同意が得られるよう粘り強く交渉を続け、市町村を通じて地元自治会、関係者等の協力を得ながら事業を推進することができた。 ・公園整備の効果を早期に発現させるため、一部完成した公園については部分的な世界関始に取り組み、世界南護を増加させた。			

・公園整備の効果を早期に発現させるため、一部完成した公園については部分的な供用開始に取り組み、供用面積を増加させた。

様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)									
<u>〇内部要因</u>	<u>○外部環境の変化</u>								
・公園整備を行うにあたり公園用地の確保が必要となるが、用地取得や物件補償において、事業への理解が得られないことや代替地が確保できない等の理由から、地権者等の同意を得るまでに長期間を要している。	_								

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・公園用地の取得に長期間を要することから、地権者等の同意が早期に得られるよう、市町村を通じて地元自治会、関係者等の協力を得ながら事業を推進する必要 がある。また、整備の効果を早期に発現させるため、部分的な供用開始も含めた効率的かつ効果的な整備に努める必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・都市基幹公園等の整備に関しては、引き続き公園用地取得に向け、地権者等の同意が得られるよう粘り強く交渉を続けるとともに、市町村を通じて地元自治会、 関係者等の協力を得ながら事業を推進する。また、整備の効果が早期に発現できるよう部分的な供用開始に取り組む。 「主な取組」検証票

_										
	施策展開	2-(1)-イ	「スポーツアイランド沖縄」の形成	施 策	③ スポーツ・レクリエーション環境の整備					
	心果故用			施策の小項目名	〇スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実					
	主な取組	がんじゅーどー事業								
	対応する 主な課題	①県民の健康の保持増進に向けて、明るく活力に満ちた生きがいのある生涯スポーツ社会を実現することが必要である。								

1 取組の概要 (P	lan)								
		取組内容		年度別計画					
- A				H29	H30	R元	R2	R3	
安全で気軽にウォ 県民の健康つくりを		キンク等に利用した	っすい道路空間を形成し、	2路線	2路線	1路線			
実施主体		県		歩道整備	l .				
担当部課【連絡先】	十木建築	部道路管理課	[098-866-2665]	,少旦宝哺 					

2 取組の状況 (Do) (1) 取組の進捗状況 (単位:千円) 予算事業名 沖縄振興特別推進交付金 R4年度 令和3年度活動内容と令和4年度活動計画 H29年度 H30年度 R元年度 R2年度 主な財源 実施方法 当初予算額 主な財源 OR3年度: 安全で気軽にウォーキング・ジョギング等に利用しやすい道路空間を形成し、県民の健康つくりを推進するため、1路線で歩道整備等を実施した。 決算額 決算額 決算額 決算額 決算見込額 一括交付 金(ソフ ト) 0 金(ソフト) OR4年度: 直接実施 40,086 27, 999 121, 614 29, 326 24, 624 予算事業名 令和3年度活動内容と令和4年度活動計画 R4年度 R2年度 R3年度 H29年度 H30年度 R元年度 主な財源 実施方法 決算見込額 当初予算額 主な財源 OR3年度: 決算額 決算額 決算額 決算額 OR4年度:

様式1(主な取組)

活動指標名					R3年度		R3年度		<u>活動概要</u>		
	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	決算見込 額合計	進捗状況	宮古管内の高野西里線において、ゴムチップ 舗装を0.48km整備した。	
実績値	2路線	2路線	3路線	1路線	1路線	1路線	100. 0%				
活動指標名		•		!		R3年度					
	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		順調	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
実績値								24, 624		計画値の1路線整備に対して、実績値は、宮 古の高野西里線で整備を行ったことから、本 事業は、順調に進捗しており、安全で気軽に ウォーキング・ジョギング等に利用しやすい	
活動指標名		•		•	R3年度					道路空間を形成が図られた。	
	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B				
実績値											
(2)これま	での改善案	の反映状況		ı							
		令和3	年度の取組	改善案			反映状況				
・モデル路線5箇所の内、未完成路線1路線の整備を推進することにより、安全で気軽にウォーキング・ジョギング等に利用しやすい道路空間を形成することで、利用者数、運動距離を増加させ、県民の健康増進を図っていく。									引用しやすい	も完了したことから、安全で気軽にウォーキ い道路空間を形成され、利用者数、運動距離を っている。	

様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1)推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)							
〇内部要因	○外部環境の変化						
_	・都道府県別平均寿命の順位で沖縄県は2015年(平成27年)の全国順位が男性36位、女性7位と1985年(昭和60年)を最後に下がり続けており、健康長寿沖縄のイメージが低下している。						
(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)							
・モデル路線の整備は概ね完了しているが、県民の健康増進を図るためにもっと周知する必要がある。							

4 取組の改善案 (Action)

・県民の健康増進を図るためにもっと周知を行い、利用者を増やす。